

## 境 内はにぎやかな雰囲気

大賀島権現祭り

4月29日、大賀島寺（邑久町豊原）で権現祭りが行われました。

豊安、円張、邑久郷（岡山市）の3地区の子どもたちが、日ごろから練習してきたしゃぎりを客殿で奉納しました。

その後、子どもたちを乗せた各地区のだんじりが地域の人たちに引かれ、境内からお旅所を目指して出発。円張だんじり（市指定有形民俗文化財）を先頭に、太鼓やかねを打ち鳴らしながら練り歩き、沿道の観客を沸かせました。



地域の人たちに引かれ、急な坂を登りきる豊安だんじり



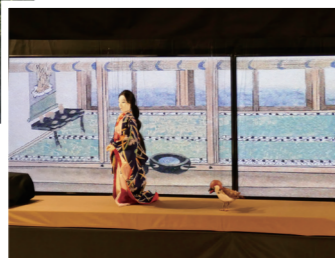
円張だんじりの上で太鼓やかねを打ち鳴らす子どもたち

## 朝 からのぎわいを見せる

備前福岡の大手



朝からたくさんの人でにぎわいました



仲崎邸で上演された「一遍上人物語」

4月23日、長船町福岡の市場小路一帯で恒例の備前福岡の大手が開催されました。

妙興寺から延びる通りなどに住民団体らがテントを並べ、郷土料理や特産品などを販売。朝から家族連れなど、たくさんの人でにぎわいました。

仲崎邸では、糸操り人形劇文化を継承している瀬戸内市アマチュア人形劇団協議会による「一遍上人物語」の上演や、9人の出店者による力作展示「暮らしを彩る書展」が開催されました。

## 厳 かに大行列

千手山弘法寺脚供養

5月5日、千手山弘法寺で脚供養（県指定重要無形民俗文化財）が行われました。

弘法寺の脚供養は、藤原豊成の娘として生まれた中将姫が、極楽浄土に導かれたという説話を劇化したもので、日本三大脚供養の一つとされています。

ドラとほら貝が鳴る中、遍明院から出発した六観音、地蔵、天童、僧侶、稚児などの大行列が、ゆっくりと練り歩きました。大勢の見物人に見守られながら、行列は厳かに執り行われました。



導師から中将姫の像を受け取る表観音（写真右）



練り歩く稚児ら



My Town Topics

## まちの話題

問 秘書広報課：☎0869-24-7095

### ハ ンセン病の歴史を語り継ぐ

人類遺産世界会議

ゆめトピア長船で4月23日、「ハンセン病の歴史を語り継ぐ 人類遺産世界会議」が開催されました。これは、アジア、ヨーロッパ、アフリカなど各国のハンセン病関係者が集い、意見交換を行うもので、今回で5回目。

初めに「ハンセン病から、いのちの水へ」と題し、ペシャワール会現地代表・医師の中村哲氏が講演。アフガニスタンで農村振興のため、水利事業に携わっている話を踏まえ、「我々が『どんな病気であろうと、国籍・人種が違っても、人間は人間である』という認識を心の底から持つときが、偏見が消えるときではないか」と述べました。

次に、ハンセン病の歴史を語り継ぐ手段や歴史保存について、各国のハンセン病回復者や支援者が討論・意見交換を行い、市民ら約400人が耳を傾けました。



中村氏の講演



各国のハンセン病関係者がハンセン病の歴史保存などについて意見を交換しました



邑久光明園マスコットキャラクター「こみよたん」（写真左）と瀬戸内市マスコットキャラクター「セットちゃん」が来場者をお出迎え（左）／会場では、ハンセン病に関連するパネルが展示されました（中）／ノルウェーのハンセン病遺産について意見を発表する参加者（右）



### ク ラフト作家との交流を楽しむ

牛窓クラフト散歩



訪れた人は、各会場に並ぶ作品を品定めしていました



まち歩きを楽しむ人々にぎわう「しまち唐琴通り」

牛窓地域で4月15・16日、東北から九州まで全国各地のクラフト作家が集うイベント「第3回牛窓クラフト散歩」が開催されました。

陶芸、ガラス工芸、金属工芸、革工芸など、さまざまな分野の作家たちが、しまち唐琴通りや牛窓オリーブ園、中浦旧道エリアの民家や施設で作品を披露。

訪れた家族連れらは、ゆっくり作品を鑑賞しながら、それぞれの作家と会話し、交流を楽しんでいました。